



未来の先生展
2017

先生が21世紀型スキルを体験的に学ぶ

～2020年、学習指導要領改訂にむけて～

ワークショップ形式

開催日時 2017年 8月 26日(土) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館2F 207教室

司会者 ティーチャーズ・イニシアティブ 理事 宮地勘司

内容

新学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」の実現を標榜し、知識記憶型から、考える力・実践する力を重視する方向へ舵を切りました。「主体的・対話的で深い学び」の実現は、学びを本質的に変革させる大きな機会といえるでしょう。そしてこの改革を担うのは、現場で日々生徒に向き合う先生です。改革を成功させるには一人ひとりの先生が自らの意識を見直し、より柔軟で創造的な教育観へとシフトする必要があります。このような背景の中、ティーチャーズ・イニシアティブは、志ある先生方が21世紀型の学びへとシフトすることを後押しするために、「21世紀ティーチャーズプログラム」を開発しました。今回は、このプログラムの概要と成果をお伝えすると共に、そのエッセンスの一部を凝縮してお届けします！！ご自身が先生になられた原点を振り返り、教育に向き合うための基盤を固めるワーク、混沌とした社会の未来を見据えるワークなどを通して、こどもたちをどのように育てていくかを考えていきます。

ここに注目！

世界的に見ても先進的な学びの理論やメソッドを取り入れています。システム思考、U理論、学びのデザイン、ファシリテーション、ダイアログ等、グローバル企業で実践されてきた人材育成や組織開発の手法や考え方を活用し、学び手が主体となるダイナミックな学びの場づくりを体験していただけます。「21世紀型スキル」や「アクティブ・ラーニング」など新しい学習のテーマに関心をお持ちの先生、これまでの授業運営に行き詰まりや物足りなさを感じている先生、子どもたちの新しい可能性をどうやって拓こうかとお悩みの先生、何かが変わろうとしているがなにを変えればよいのか悩まれている先生のご参加をお待ちしております。

団体（個人）プロフィール



「先生こそが真に未来をつくりことができる」という考えの元、産学官が協同して立ち上げたプロジェクトが、一般社団法人ティーチャーズ・イニシアティブです。「主体的かつ創発的に学び、成長する教師を支援する」をミッションに掲げ、21世紀型の学びを探求する先生向けのプログラム、21世紀ティーチャーズプログラムを全国の先生に提供しています。

理事：

一橋大学名誉教授米倉誠一郎先生、文部大臣補佐官鈴木寛先生、法政大学教授児美川孝一郎先生、慶應義塾大学教授前野隆司先生

プログラム開発：

チェンジ・エージェント代表取締役社長兼CEO小田 理一郎氏、組織開発コンサルタント土屋恵子氏、日本プロセスワークセンターファカルティ桑原香苗氏、埼玉県立新座総合技術高等学校教諭・千葉商科大学客員講師並木通男氏、講師・ファシリテーター後藤 拓也氏

参加者へのメッセージ

昨年実施したプログラム受講者の学びを終えた後の声をご紹介します！

「学ぶとは何かという根本の部分を考えられる研修でした。生徒と一緒に持つ時間の視点が大きく変わる経験でした。」 (宮崎県 高校教諭)

「プログラムを通して自己肯定感がめっちゃくちゃ高まった。余裕が生まれて、理想の学校を題材に職員室で熟議ができるまでになりました。」 (三重県 中学校教諭)

「プログラムを通じて、今後の未来を学ばせてもらったと思っています。未来を見据えて今現在どうしていくか、という視点を、いまの生徒たちにも考えてもらいたいなって。そういうふうに変化した気がします。」 (東京都 工業高校教諭)

「こうやって学ぶ環境を作れば生徒も自分を開示出来るのかなって、自分もこんな場作りを試してみたいと思えた。そうやっているんなことを気づかせてくれるプログラムだった。」 (埼玉県 総合高校教諭)

こうした受講生の変化を実現した体験を、参加いただいた皆様にお届けします！

